

## 私とNPO



NPO法人 ひかり  
理事 上野晃司

私は、NPO法人ひかりの上野晃司と申します。私がNPO活動する事になったきっかけをお話しさせていただきます。私自身2年前の2003年7月に、宝塚市安倉に設立した「宝塚フットサルドームCABO」にオープン当初より勤務しております。

フットサルとは、簡単にいうとミニサッカー。サッカーよりも小さいコートで試合を行います。人数も5対5なので10人いれば試合ができ、しかもサッカーよりもファールを厳しくとりますので危険性が低く、現在では初心者の方から子ども、年配者、特に最近では女性のプレーヤーも多くなり、誰でも楽しめるスポーツとして認識されつつあります。このフットサルの仕事にたずさわってきて感じた事なのですが、様々なスポーツイベントを行い、地域の活性化に繋がるような事が出来るのではないかと感じました。

私たちは、自分達の施設で今までも地域のNPOの方達や、障害福祉団体の方達と様々なイベントを行ってまいりましたが、NPO法人として活動する事によって、今まで以上に様々なイベントを開催する事が出来るのではないかと思い設立致しました。非営利として活動し、スポーツを通じて子ども達の健全育成をはかり、高齢者・障害者福祉の活動をすることによってまちづくりの推進を図り、地域の活性化に繋げていきたいと考えています。

私自身、日本サッカー協会公認のC級コーチライセンスを所得しており、当施設で大人から子どもまで指導を行っています。その経験を活かして、高齢者や障害者の方々が出来るようなメニューなど、そ

の方にあったものを作り出し、どんな方でも体を楽しく動かせるようなものをプログラムし、我々がコーチとしてついて指導するスクール(クリニック)を開催したいと考えております。そしてスポーツを通じて、私も含め、たくさんの方々とコミュニケーションのとれる場を作りしたいと思います。

スポーツを行う子ども達がより多くなるように、いろいろなイベントを開催し、コミュニケーションの場を作る事により、現在社会の問題として少しずつ取り上げられている、仲間作りが上手に出来ない子ども達、社会性の欠如、元気に遊ぶ子とそうでない子の二極化現象、体力の低下、生活習慣病の増加などの問題を少しでも無くしていけるようにしていきたいと思っております。

NPOと出会い、今まで私が歩んできたことを活かして、地域の皆様の力になれることができると知りました。現在コンピューターが発達し、ほとんど外に出ないという方が多くなってきています。私が子どもの時などは外で遊ぶ、運動をする場所が様々な所にありましたが、最近ではいろんな事件等が多くなってきており、外で遊ぶことが危険な事との認識が強くなっているように感じます。

私たちはスポーツを楽しめる安全な場所を提供し、そしてたくさんの方とスポーツを通じてコミュニケーションをとり、その方々の身近な方々が今後にかしらのスポーツを始めてもらい、スポーツが盛んな地域作りを目指し努力していきます。

今の仕事を通じて集まった仲間たちと、今までたくさんイベントを考え実施して参りました。今後我々がそのノウハウを活かし、たくさんの方々に楽しんでもらえるようなイベントを様々な所で開催し、地域の活性化に繋がる事が私たちの出来る事だと思います。私たちが活動する事によりスポーツを行う人たちが増え、そしてスポーツを初めてもらえるような環境ができ、さらに宝塚地域のスポーツ熱があがり、活性化に繋がっていくように日々頑張ってお活動していこうと思っております。

今年もあと少しで終わろうとしている。この1年を振り返って原稿を書こうと、今自宅で机に向かって。暖かいので掃除をしている間は窓を開け放していた。好きなCD（最近はインドの瞑想用のCD）をかけ、ラベンダーのアロマオイルを焚き、雲を眺めながら入浴用の伊吹の薬草を小さな袋にいくつも入れる。ああ、平和なお休みだ。

10・11月はほとんど休みが取れなかった。忙しかったのは土日や夜の講演が多かったからだが、それで倍働いた気がする。それに加えて自分の講演やコンサルが下手でだめだという自己嫌悪にも陥ってしまった。働きすぎると良くない。

コミュニティ・ビジネス連続講座がいくつもあって、結果は多くの社会起業家が飛び立とうとして成果は確実に上がっている。仕事は有意義でやりがいがあるはずなのに、疲れたのだろうか。

この1年はあっという間に通り過ぎた。

5月の総会では、初めて各事業担当者がパワーポイントで発表するという形式をとった。いつの間にか大きく成長しているスタッフがそこにはいた。もう、私たちがいなくても大丈夫ねと山本次長と話し合ったのもこの頃。

ほっとしたのもつかの間、次々とトラブルは起こるものだ。その頃保育事業が伸び悩んでいることが顕在化。事業はどうなっているのかとあわてて点検。兵庫県からの助成金をもらっている事業のなかで、審査員の先生からは「宝塚 NPO センターが運営しているのだから、助成金を当てにせず、企業に負けられないように経営を」と言われて、またまたプレッシャー。

それからというものはいつもこの事業のことが頭から離れない。NPO大学で事例研究にあげて課題の洗い出しや解決の方策をさぐり、理事の知恵も借りて総力をあげ起死回生の策を講じている。

「組織はトラブルを解決していくことでしっかりしてゆく」と言ったのはNPO法人友 - 友の小林さん。その言葉に慰められている。

1年間継続できたことは、毎朝のヨガ。そのせいか、仕事上のトラブルにも耐えられるようになった。ヨガによって私の心の平安と身体の健康がcausingて守られているというのが実感。

私が仕事で心がけているのはボランタリーな心と、ビジネス的マネジメントのバランスだ。無償のボランティアでもなく、企業のように営利を第一目的としているものではないNPOやコミュニティ・ビジネスは、どちらかに傾きすぎると、うまく運営できないからだ。

先日の相談でも「企業と競争して営業をしたり、値段を下げていたら、何のために働いているのかわからなくなりクタクタに疲れた」という社会起業家がいた。

私はいつも企業の社長のよう働き方をしている彼女に対し疑問を持っていたので、思わず「競争してはだめよ。同じ土俵で戦ったら負けるに決まっているんだから、しんどくなるのは当然よ。何のためにこのコミュニティ・ビジネスを始めたのか初心に戻って自分を取り戻し、もっとボランタリーになってみたらいいのと違う？」と伝えた。

私は、企業のようなマネジメント能力はNPOでは不要だと思っている。NPO法人やコミュニティ・ビジネスを起業していくということは企業との違いをはっきりと出すこと、これがNPOらしさではないか。

私どもも競争の激しい保育事業に関わり苦戦しているが昔のような「ひと」を育てる保育を取り戻したいと願っている。小さな時から習い事をさせたり、英語をしゃべる子どもを目指すのではなく遊びの中から人との関係を築き、感性豊かな、生き生きした子どもを育てたいと望んでいる。採算も必要だが、なぜこの仕事をしているのか基本をしっかり持って、少しでもよい社会を作りたい。その実現のために、来年もがんばろう。

事務局長 森 綾子

# 「子ども未来プラン・リレーワークショップ」開催

～子どもたちの夢ある未来に向けて～

去る11月29日(月)、宝塚市のソリオホール会議室にて、「子ども未来プラン・リレーワークショップ」が開催されました。兵庫県少子局が「子ども未来プラン」の策定に当たって広く県民の意見を反映させるための場として設け、本センターが開催に協力して阪神北地域の子育て支援をしているNPOや市民グループを対象にワークショップを行いました。



まず第1部では、兵庫県健康福祉部少子局長でもある清原桂子兵庫県理事より、「子ども未来プランに向けて」と題して基調講演を行いました。少子化に至った歴史的背景や、社会構造の変化、欧米との数字的な比較や、日本国内でも兵庫県の少子化傾向が進んでいるとの説明がありました。また、その対策としては、男女共同参画社会の実現や男性の就労時間の短縮などいくつかの問題点が指摘されました。

第2部では、24人の参加者が4つのグループに分かれて、ファシリテーターの吉見講師の進行によりワークショップを実施しました。そこで抽出された課題は、次の2点に要約されます。

- ・ 市民活動団体の財源や人材の確保
- ・ 市町村を超えた子育て支援者側のネットワークづくり



市によってはNPO法人が認可保育所の許可を受けられない地域もあり、兵庫県内でも格差があるので、情報の共有によりそういった格差の是正につなげていけないものかという意見も出されていました。今回皆さんから出された貴重なご意見は、少子局担当者にご報告すると共に、我々民間サイドでも、今回の出会いをきっかけにネットワークをつくり、子どもの未来について共に語れる場づくりを行政と協働のもとにつくっていただければと考えていますので、今後ともご支援ご協力よろしく願いいたします。

## 地域ビジネス交流サロン開催

12月15日、宝塚市立男女共同参画センターにて、地域ビジネス(CB)交流サロンが開催されました。参加者は40名。第1部では(特)寝屋川あいの会理事長の三和清明さんが「既存商業者と起業家との連携のコツ」をテーマに基調講演を行いました。講演では、寝屋川市の大利商店街における地域活性化において、NPOとのネットワークや、地域通貨を通じた人と人との信頼関係づくりが効果的であったと報告されました。第2部では起業家として(有)クルーズ：久保明子さん(地域情報誌の発行)、(有)河本本舗：河本宏さん(やきもちの商品開発の工夫)、(有)クロスワード：佐藤正貴さん(パソコンを使った新たな取り組み)の3人よりそれぞれオリジナリティあふれた事例の紹介があり、その後参加者を交えて活発なトークセッションが繰り広げられ、第3部では、立食パーティ形式で一人ひとりが活動や事業を紹介し名刺交換などが行われ、なごやかな雰囲気の中で大いに盛り上がり交流が図られました。



参加者から、これからのまちの活性化には商業者や企業家、行政だけではなく、NPOや地域住民を巻き込んでいくことが重要なポイントであるという声が聞かれ交流会の意義が確認されました。分野を超えた今回のようなサロンが交流の場として設けられることが地域の活性化に求められています。

## 宝塚NPOセンター主催講座案内・・・参加申込み受付中

	NPOサロン	NPO基礎講座	実務研修	阪神北 NPO ハウスセミナー
1月	19日(火) 協議会を考えるラウンドテーブル	11日(水) NPO入門		18日(水) 地域・家族ぐるみの健康づくり
2月	中旬予定 NPO交流サロン	8日(水) NPO入門	15日(水) 理事会・総会の開き方	15日(水) 賢いお金との付き合い方 PART 2
3月	中旬予定 協議会を考えるラウンドテーブル	8日(水) NPO入門		15日(水) 地域介護について・介護相談

### プレーパーク(冒険遊び場) ボランティアリーダー募集中!

土曜日の午後を中心に、子どもたちの自由な遊び場として、プレーパークを実施しています。幼児(親子)から小学生まで毎回約20名ぐらいの子どもたちが遊びに来てくれています。子どもたちと一緒に遊んだり、遊び用具の準備や片付けを手伝ってもらえるプレーリーダーを募集しています。子どもと遊ぶのが好きな方、是非ご連絡下さい。

開催場所：末広中央公園  
(体育館横の広場)  
開催時間  
13:00～16:00  
連絡先  
宝塚NPOセンター



### NPO 活動パネル展示募集

宝塚市まちづくり総合フォーラム会場において、宝塚市内に拠点を置くNPO法人の活動紹介パネル展示を行います。

日時：2006年2月5日(日)  
場所：ソリオホール  
パネル枚数：22枚(先着順)  
搬入：2月5日10:00  
搬出：2月5日16:00  
申込：特・宝塚NPOセンター  
\*詳細は別途ご案内します。

### 会員継続のお願い

[正会員] 個人会員 10,000円 団体会員(NPO法人) 10,000円 法人会員 30,000円 [準会員] 3,000円

銀行振込：UFJ銀行 阪急宝塚出張所 普通預金 3629422

口座名義 タカラヅカエヌピーオーセンター 郵便振替：口座番号 00930-8-77117

口座名義 宝塚NPOセンター同封の郵便振替用紙をご利用ください。

ご支援ありがとうございます。新たに入会された皆さん

[正会員]田中哲人 [準会員]北治修一 [法人会員]宗・華蔵院 [団体会員]キッピーフレンズ  
寄付をいただいた皆さん 田中哲人 北治修一 大野保子(順不同、敬称略 2005.12.20現在)

特・宝塚NPOセンター会員数  
正会員 124 法人会員 10  
団体会員 56 準会員 179  
(2005.11末現在)

### 寄付のお願い

NPOの活動を分かりやすく、現場の雰囲気伝えるために、ブログで情報発信を始めました。“身近な存在”としてNPOが大切なサービスを提供していることを発信し、同時に、「寄付をお願いされても現場が見えないの...」という不満を少しでも解消できればと思います。

ボランティアライフ.jp  
<http://voluntary.jp/>

地域安心お助けネット  
<http://www.hnpo.comsapo.net/>



### 事務局のつぶやき.....

小春日和を受けてベランダには黒豆、大根、柿、ゆずの皮とつるされ、さながら農家の軒先。どれも作り手が丹精こめ土の滋味にあふれている。さる打ち合わせで、まちづくりの成果は毎年右肩上がりに数値で表せることと指摘された。右肩上がりという表現もさることながら、まちづくりの成果が即効性の新薬のように成果となってあらわれることは難しい。土壌を耕すことに時間を要し気運が醸成されて成果が見えてくるものではないか。土に働きかける人は少なく、大輪の花を求め摘み取るうとする。まちづくりの時間は次世代に向けてゆっくりと流れている。R.Y

## 特・宝塚NPOセンター

〒665-0845

宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

Tel & Fax 0797-85-7766

0797-85-7799

利用時間 9:00～17:15

休館日 日・祝日・年末年始

Email [zukanpo@hnpo.net](mailto:zukanpo@hnpo.net)

URL <http://hnpo.net/n/zukanpo/>

みるくっく宝塚

〒665-0852

宝塚市売布 2-5-1

ピピアめふ 1-6階

Tel & Fax

0797-87-1556

生きがいごとサポートセンター-阪神北

〒665-0845

宝塚市栄町 2-2-1 ソリオ 3-4F

Tel & Fax 0797-87-4350

0797-87-4351

Email [ikigai-h@jttk.zaq.ne.jp](mailto:ikigai-h@jttk.zaq.ne.jp)

URL <http://www.jttk.zaq.ne.jp/ikigai-h/>

阪神北 NPO ハウス

〒665-0021

宝塚市中州 1-7-20

ハイツ村上101、203号

阪急逆瀬川駅から徒歩8分